

野生生物と社会学会 青年部会企画 企画書
「若手研究交流会：多様な手法と視点から探る、野生生物と社会の課題」

2025年11月5日

中祖・安田

(文責：中祖)

【体制】

安田和真(東京農工大学大学院修士課程)

中祖ゆきな(株式会社建設環境研究所)

【趣旨・内容】

野生生物と社会を取り巻く課題は、生態系・地球環境・人間活動の変化、感染症リスク、政策・制度構築、地域社会の文化的背景など、自然科学や社会科学の側面から様々な事象が関わっている。こうした課題に取り組むためには、問題意識や研究手法等について共有・議論することや、異なる領域の研究者が互いの視点や手法を横断的に捉えることが重要であると考え。しかし、多様な研究分野に触れ、意見交換を行う機会は特に若手研究者にとっては限られていると想定される。

本企画は、野生生物と社会に関わる多様な分野の若手研究者が互いの研究内容や手法を共有し、学際的な視点を育むことを目的とする交流会である。生態学、環境社会学、政治学など、異なる分野に属する若手研究者に、「自身の研究ではどのようなデータ・手法を用いて、どのような課題・現象の解明を目指しているのか」、さらに「その研究が社会の中でどのように実装・応用し得るのか」という観点から報告していただく。

これらの報告をもとに、参加者全員で自由な質疑応答や意見交換を行うことで、研究手法や問題意識の違いを越えた理解を深めるとともに、若手研究者同士のネットワーク形成と研究力の向上、ひいては将来的な共同研究や新たな研究視点の創出を図ることを目指す。

【日時】

2025年12月19日(金)18:30～

【場所】

レンタルスペース chill inn 新大久保

住所：東京都新宿区大久保1丁目4-14

【予算】

レンタルスペース料：6.6万円

【集客対象・人数】

対象：学部生～35歳(学会非会員も参加可能)

人数：30名程度

【タイムテーブル】

18:30～18:40 趣旨説明

18:40～20:40 発表・質疑応答

20:40～20:50 青年部会の紹介、閉会

【各演者の発表内容】

・自己紹介

・研究紹介

・今後の展望